

No.4 研究内容を紹介する時の英語表現アレコレ

「研究内容を紹介するときの英語表現」のポイント

- 最初の60秒で「Why」「Who」「What and How」を明確にする。
- 「Power of 3」、つまり3つをポイントにして話す。
- 締めくくりに「Call to action」を忘れない。

今回のシルバーマンコーチのレクチャー内容

こんにちは、AMT大学のシルバーマンです。今日は、慢性便秘症患者を対象とした便秘症状の改善に関する臨床研究についてご紹介します。

便秘に悩む患者さんのQOLの改善をサポートするために尽力されている先生方に、この発表を聴講いただくことで、従来の治療法に加えて新たな選択肢が手に入ると思います。

私の話をシェアすることで、慢性便秘症で悩んでいる患者さんがそれから解放されるお役に立てば幸いです。なお、本研究で開示すべき利益相反はありません。

この後の2分間で、まず、5つの症状での改善をみたグラフを示します。次に、治療によるQOL (Quality of Life) への影響について説明します。そして最後に、治療による副作用を共有します。

ルビプロストンを48週間投与した慢性便秘症患者における、便秘の諸症状の改善率を示したスライドです。

グリーンの部分改善、薄いブルーが不変、濃いブルーが症状なし、グレーが悪化を示しています。ルビプロストン投与48週時点でそれぞれ「改善」とされた率は、便の硬さ82.0%、いきみの程度71.9%、残便感70.9%、腹部不快感71.8%、腹部膨満感68.1%でした。ここでの主なポイントは、被験者の多くで、5つの症状に改善が見られたということです。

次に、QOLの改善をみたデータをご紹介します。QOLはJPAC-QOLの、心配/関心、身体的不快感、精神的不快感、満足度の4つの項目をあわせた合計スコアで検討しました。JPAC-QOLは、PAC-QOLの日本語版です。

ルビプロストンを投与開始する前のスコアは1.79でしたが、投与第4週目が1.06となり、有意なスコアの減少が認められました。その後も、投与第12週目が0.89、投与48週目が0.65で、投与4週目以降、すべての時点で有意なスコアの減少がみられました。この結果で大切なことは、ルビプロストンを長期投与することでQOLが有意に改善することが示されたことです。

5つの症状の改善ならびにQOLの改善についてご説明しました。次に、副作用について見てみましょう。

全体の副作用は、安全性解析対象症例1,048例中、180例217件の副作用が報告され、その発現率は17.18%でした。重篤な副作用は失神、心停止、下痢がそれぞれ1例1件に認められました。主な副作用は、黄色いマーカーで示していますが、下痢8.87%、悪心4.68%、嘔吐0.57%でした。

ルビプロストンの特定使用成績調査に関する中間報告の安全性及び有効性のまとめを簡単にご紹介します。

ご覧のように、ルビプロストンの長期使用において安全性ならびに有効性が確認されています。本調査で得られたデータが、今後の慢性便秘症に対するルビプロストンの適正使用に繋がられ、患者のQOL向上に寄与できると考えられます。

明日からの慢性便秘症治療で、ルビプロストンが適応になる患者さんがいましたらお試しいただけたらと思います。

英語のプレゼンテーションの各シーンで使えるフレーズ

🔊のある箇所は音声でも聞くことができます

(1) プレゼンテーションの流れを示すとき

聴衆にプレゼンテーションの全体の流れを理解して進めていくためのフレーズを紹介します。

1) プレゼンテーションの要所で、流れを説明する例

- *Let's take a look at the data from AMT University School of Medicine.* 🔊
AMT大学医学部のデータを見てみましょう
- *Next, let's take a look the study that was performed again in AMT University looking at the effects.* 🔊
次に、その効果についてAMT大学で再度行われた研究を見てみましょう
- *Before I conclude, let's review of the approach of diagnosis and treatment of constipated patients.* 🔊
結論を述べる前に、便秘患者の診断と治療の考え方を振り返ってみましょう

2) 質問に自ら答えながら展開する例

修辞疑問文を用いて、各々の質問に自ら答えるという方法の例です。自ら答えを述べていくことで話を次の段階へと展開しやすくなり、かつ聴衆に思考プロセスを理解してもらいながら、質問の答えにも興味を持ってもらいやすくなります。

①自分自身で質問し回答して、話を展開するとき

- *There are now three questions to answer. The first one is...*
ここに3つの質問に対する回答があります。まずは～
- *So how do we define it in this group? In order to answer that question...*
それでは、このグループではそれをどのように定義するのでしょうか？その質問に答えるために～
- *Now, a question comes up; why...? To address this question...*
さて、疑問が出てきました。なぜ～？この疑問に対処するには～

②話の展開を示すとき

- *Let's compare...*
ここで、～を比べてみましょう
- *Look closer...*
～をさらに詳しく調べてみましょう

- *Examine closer...*
～をさらに詳しく調べてみましょう
- *One more significant consequence of this analysis is that...*
この分析についての、もうひとつの重要な結果は、～
- *Let's return to the issue of ...*
～の問題に戻りましょう
- *Here I will illustrate...*
ここで、～についてご説明します
- *And finally, let's consider...*
最後に、～について考察しましょう

③データやエビデンスの有無を示すとき

- *Here is data to support / Here is data that supports this theory*
この理論を裏付けるデータをお示します
- *This observation is enough to support evidence for our claim that the new drug has an effect on...*
この観察は、新薬が～に影響を与えるという私たちの主張の証拠を裏付けるのに十分です

④データや資料に基づいて話すとき

- *With this in mind, let's turn now to the problem of...*
この点を踏まえて、次の～問題に移りましょう
- *Given the above data, I will consider the...*
上記のデータをもとにして、～について考察します
- *As is clear from the list, I conclude that...*
その表から明らかのように、私は～と結論付けます

⑤研究の方法論と展開を述べるとき

- *The method employed in this research is based on...*
本研究で使用される方法論は～に基づいています
- *This research is mainly based on...*
本研究は主に、～に基づいています

(2) 要点を強調するときの表現

自分の発表内容のある特定部分に対して注目を集めたい場合の言い回しの例です。

大切な部分はゆっくりと、繰り返し話すことが効果的です。ただし、この際には、同じ表現や単語は使わない方がよいでしょう。また、限られた時間内では、できるだけ最初に要点を持ってきて、その後はそれを支持するデータや大切なことを繰り返すようにします。

- *The main point here is that across these 5 symptoms, we see improvement by a vast majority of the patients in this study.* ◀▶

ここでの主なポイントは、被験者の多くで、5つの症状すべてに改善が見られたということです

<その他の表現例>

- *The point to emphasize here is...*
ここで強調するポイントは～です
- *There are two things to note here. The first is that...*
注意点は2つあります。一つ目は～
- *Finally, I'd like to remind us of this very important fact that...*
最後に、～についての非常に重要な事実を思い出してください
- *It is important to understand that...*
～について理解することは重要です
- *Let me draw your attention to three important points here.*
ここで、3つの重要なポイントに注意してもらいたいです
- *The two most important points here are... and...*
ここで一番重要なのは、～と～

(3) 不確実な結論を述べるときの表現

場合によっては、不確実な結論しか得られなかった場合もあり、演者自身も結論に対する確信があまりないこともあります。その際には、「現時点ではわからない」ということをはっきりと述べます。

言い回しとしては、「～と結論付けるには、未だ根拠が薄弱である」「～の可能性がある」と述べることであれば、説得力は増します。

- *Our results suggest that ABC treatment can improve the excretion parameters of chronic constipation patients.* ◀▶

ABC治療が慢性便秘患者の排泄のパラメーターを改善できることが示唆されました

<その他の表現例>

- *At this time, we have yet to draw any firm conclusion (s)...*
現時点では、～に関する確固たる結論はまだ出ていません
- *The evidence seems to indicate...*
エビデンスが～と示しています

(4) 今後の展望を示すときの表現

今後の研究の方向性に関して展望を示す例です。プレゼンテーションのクロージングとして、研究から得られた結果をもとに、これからの課題や将来展望などを、発表者個人のコメントとして述べます。

- *The ABC medications are still protected by patents and are therefore more expensive today. But that patent protection will run out in approximately two years.* ◀▶

ABC医薬品は特許によって保護されているため、現在のところ高価です。しかし、その特許保護は約2年でなくなります。

<その他の表現例>

- *In the next 5 years, we are likely to see...*
今後5年間で、～のようになると思われます
- *Soon, we can expect that...*
間もなく、～が期待できます
- *In the future, we might achieve...*
将来的には、～を達成するかもしれません
- *One day we might be capable of...*
いつか～をできる時がくるかもしれない

(5) 以前の研究の引用

プレゼンテーションでは、先行で実施した研究結果を引用することもあります。それをスライドで紹介するときの文例です。

This is a very famous research previously shown by Dr. Brown, showing that long-term improvement of constipation symptoms is highly associated with maintenance of patients' quality of life. ◀▶

これは、以前ブラウン先生が示した非常に有名な研究です。長期にわたる便秘症状の改善は、患者のQOL維持に深く関連していることを示しています。

<代表的なフレーズ>

①従来の研究を紹介する場合

- *Here I would like to show what has been studied on...*
ここで、～に関して研究されてきたことを紹介します
- *First of all, allow me to introduce some of the information concerning what has been studied and discussed so far about...*
まず、～に関して、これまで研究され議論されてきたことに関する情報を少しご紹介させていただきます

- *Before going into the main part of my presentation, let me give an overview of previous studies on...*
発表の本題に入る前に、～に関する先行研究の概略を述べます

- *I will review the previous studies on the...*
～についての先行研究を概観しましょう

②従来の研究とは違うことを示す場合

- *Most of the previous studies focused on the advantage of..., today's presentation differs from them.*
従来の研究のほとんどが、～の利点に焦点を当ててきましたが、本日の研究発表は違います

③研究発表のはじめの段階で述べる事柄を示す場合

- *I would like to make a brief summary of previous work concerning...*
～についての先行研究の概略を簡単に述べます

- *First of all, let me give you a rough sketch of what has been discussed so far on...*
まず、～に関してこれまでに議論されてきたことの概略を述べます

④これまで一般に研究されていることを示す場合

- *As is often pointed out,...*
よく指摘されているように～

- *It is generally assumed that...*
一般的に、～と想定されています

- *It has often been suggested that...*
しばしば提案されていることは～

- *It has been claimed in the literature that...*
これまでにその文献で主張されてきたことは～

- *Extensive research has recently been done on the...*
最近、～については広範囲にわたる研究がなされています

- *There are several different views on...*
～については、いくつかの異なる見解があります

- *Over the past several years, a considerable number of studies have been made on...*
過去数年間にわたり、～についてはかなりの数の研究が行われてきました

今回は以上となります。

次回は、「研究内容のスライドを明確に伝える!知っててよかったフレーズ集」をテーマにお届けします。お楽しみにしてください。